

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和3年 12月定例会	
議案番号 議案名	議案第40号 指定管理者の指定について
議員名・会派名等	日本共産党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>私たち日本共産党は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に生かすことこそが議員の責務と考えます。</p> <p>非公式の場に、議会でも発言していない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるという考えから、以下、本会議・委員会などの公の場で討論した内容を掲載します。</p> <p>2021年12月15日 本会議 議案討論</p> <p>日本共産党の平田きよみです。先ほど教育環境常任委員長よりご報告のありました議案第40号の指定管理者の指定について、賛成の立場から討論致します。</p> <p>本議案は、文化会館及び市民劇場の指定管理者を指定するためのものです。</p> <p>指定管理者候補者審査委員会による審査議事録や評価の結果を見る限り、敢えて反対する問題や理由はないと判断したため賛成いたします。しかし、審議の中で指定管理の在り方や毎年実施される市の評価委員会の評価、指定管理者として指定された団体のあり方等について、今後のことも含めて課題と考える点がいくつかありますので、要望を述べさせていただきます。</p> <p>議案第40号で選考された松戸市文化振興財団に関わることです。第1回審査委員会で、非公募理由として事務局より、施設の設置目的と松戸市文化振興財団の責務が一致している事等が述べられていますが、今後解明すべき点が残されています。財団は昭和61年に設立され、「市民の文化活動の振興に資する事業を行うと共に、市民の文化活動への助成を行い、魅力のある市民文化の創造に寄与する」活動を目的としています。現在文化会館と市民劇場の2施設における管理運営と文化活動を実施しているわけです。いわばこの2施設専用の団体となっています。収支予算書の給料と賃金の項について、対象者と平均給与や平均勤続年数などお聞きしましたが、施設の老朽化に伴う施設管理に関わる職員6人分の給与と賃金であることがわかりました。管理運営に関わるかなりの部分は、建物管理業務委託・受付案内等業務委託・舞台管理運営業務委託・清掃業務委託・駐車場運営</p>

業務委託などのように、外部へ委託しているわけです。ではこの2施設を使っの文化振興や市民の文化活動への助成などの企画運営はどうしているのか。文化振興財団の職員が担っているわけです。市の外郭団体として補助金を受けていますが、他の指定管理者も施設の管理運営の中で自主事業の企画運営をしています。それらも含めて指定管理料の中で予算を立てています。勿論規模も内容も違いますが、同じく指定管理を受ける団体として、指定管理料と財団への補助金と言う別々の入金があることになっています。こうした問題点をどう整理していくのか、文化振興財団の存在意義など、改めて検討していただきたいと要望します。

次に、市の評価委員会の評価です。毎年1回開催して指定管理者の評価をしています。市のホームページに公表されている評価結果は「良好」「おおむね良好」などと、大雑把な内容となっています。昨年の12月議会での指定管理の審議の時も申しましたが、他市では大きな項目のなかの小項目も評価し、備考欄に特徴的なことについて文章での評価も記載されていたりします。また評価委員会に事務局として市の職員が入っていても、委員の中には市の職員を入れていない市もあります。松戸市でも今後の課題として検討していくという事だったので、引き続き評価委員会の在り方についても検討していただくよう要望します。

以上で、今後の課題について指摘と要望をし、賛成討論とします。